

2021年  
11月5日(金)

19時開演／18時30分開場  
全席指定 4500円(税込)

矢来能楽堂(神楽坂)

はじめての  
矢来能楽堂  
special

矢来能楽堂 普及公演

解れば能を楽しめる！

夜能

葵上 古式

—ろうそく能—

## プログラム

◆ 解説 ～能の楽しみ方を教えます～  
わかりやすいテキストをお配りします。

あおいのうえ・こしき

### ◆ 能「葵上 古式」

六条御息所の生霊 (シテ) : 奥川恒治  
青女房 (ツレ) : 永島 充  
巫女 (ツレ) : 河井美紀  
横川小聖 (ワキ) : 野口能弘  
朱雀院の臣下 (ワキツレ) : 野口琢弘  
臣下の下人 (アイ) : 善竹大二郎  
  
笛 : 松田弘之  
小鼓 : 森澤勇司  
大鼓 : 亀井広忠  
太鼓 : 林雄一郎  
  
後見 : 駒瀬直也  
遠藤喜久  
鈴木啓吾  
佐久間二郎  
小島英明  
桑田貴志

平安の王朝絵巻「源氏物語」を題材とした能の人氣曲。  
先の東宮妃という高貴な身分の六条御息所が、そのプライドの高さ故に生霊となつてしまった悲しい心を描く。タイトルの葵上役は、舞台上に置かれた小袖のみで表現されます。  
光源氏の正妻である葵上が、物怪に悩まされて病の床に臥せている。朱雀院の臣下が巫女に物怪の正体を占わせると、光源氏の愛人である六条御息所の生霊が正体を現す。葵上の病は御息所の嫉妬による呪いのためであった。ついには鬼相となった六条御息所の生霊だが、行者に祈り伏せられて成仏していく。  
今回は、世阿弥の『申楽談儀』にも記された、「破れ車」と車添えの青女房が登場する「古式」という小書き（特別演出）で上演します。ろうそく能演出で、より平安時代が感じられます。

能「葵上」あらすじ

はじめての  
矢来能楽堂  
special

夜能

—ろうそく能—

※実際のろうそく火ではなく、安全に配慮した照明器具を使用します。

(20:20頃終演予定。途中休憩はございません。) ※終演後に、フォトセッションタイムがございます。

2021年11月5日(金) 19:00開演／18:30開場

全席指定:4,500円(税込)(未就学児童入場不可)

やらいのうがくどう

矢来能楽堂(神楽坂)

お申込・お問合せ 矢来能楽堂・観世九皇会

ホームページのお申込フォームからご予約いただけます。

<http://yarai-nohgakudo.com/>

電話03-3268-7311 FAX 03-5261-2980

Eメール [yarai@eos.ocn.ne.jp](mailto:yarai@eos.ocn.ne.jp)



チケットオンラインサービス〈カンフェティチケットセンター〉

0120-240-540(受付時間 平日10:00～18:00)

お申し込み後セブンイレブンで受け取れます。 <http://confetti-web.com/>



〒162-0805 東京都新宿区矢来町60番地

地下鉄東西線神楽坂駅下車 矢来口より徒歩2分

都営大江戸線牛込神楽坂駅A1出口より徒歩5分

駐車場はございません。近隣のコイン駐車場をご利用ください。

主催: 公益社団法人 観世九皇会

### ◆ 感染予防にご協力をお願いいたします ◆

—ご来場の際のお願い—

- ◎当日でも体調不良の際はご来場をお控え下さい。
- ◎ご入場の際は必ずマスクをご着用ください。
- ◎入口にて手指消毒と検温にご協力下さい。
- ◎37.5℃以上の発熱がある方は入場をお断りさせていただきます。

※新型コロナウイルス等の感染防止の観点より、当面の間、公益社団法人能楽協会の「能楽堂における新型コロナウイルス感染拡大予防ガイドライン」、ならびに公益社団法人全国公立文化施設協会の「劇場、音楽堂等における新型コロナウイルス感染拡大予防ガイドライン」に沿って公演開催を致します。新型コロナウイルスの感染状況や行政機関などによる指示、各種ガイドラインの変更・更新等に伴い、内容に変更がでる場合がございます。最新情報は矢来能楽堂ホームページや公式ツイッターなどでも随時お知らせいたしますので、ご来館時などには必ずご確認くださいませようお願いいたします。